

機械器具(70) 歯科用鑄造器
一般医療機器 歯科技工用ポーセレン焼成炉 (JMDN 35762000)

オストロマツ 664 iSiC

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本機器は以下のユニットにより構成されます。

＜本体＞

・シタリングファーンネス(電源ケーブル含む)

＜付属品＞

・焼成台
・温度校正キット
・取扱説明書

2. 外観と各部の名称



図 1. 正面図

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 焼成チャンバーカバー | 5 シーリング付きリフトシート |
| 2 焼成炉の上部 | 6 ファーンネス下部カバー |
| 3 支柱 | 7 ファーンネス下部(電子回路部) |
| 4 焼成台 | 8 タッチスクリーン |



図 2. 焼成ファーンネス背面図

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 シリアル番号入り銘板 | 4 電源ケーブル用コネクションソケット |
| 2 電源スイッチ | 5 USB インターフェース |
| 3 ヒューズホルダーとヒューズ | 6 ネットワークインターフェース |

3. 寸法、重量(標準値を示す。)

焼成ファーンネス(本体)

・寸法:780 mm(高さ)×383 mm(幅)×343 mm(奥行)
・重量:21 kg

4. 電氣的定格

・電源	100-230 V
・周波数	50-60 Hz
・消費電力	1.5kW

5. 機器の原理

焼成台に置かれたジルコニアクラウンは、あらかじめコンピュータにインプットされた条件(温度、リフト位置、時間)に基づいて電氣的動力でリフトが上部方向へ持ち上げられ、炉内で加熱、焼結される。

【使用目的又は効果】

本品は、ポーセレンを焼成するために歯科技工で使われる炉である。

【使用方法等】

1. 準備

- 1.1. 本体用の電源ケーブルを本体背面の電源ケーブルコネクタに接続し、コンセントに接続する。
- 1.2. ネットワークまたは個々のコンピュータを使用する場合は、LAN ケーブルを本体背面の LAN コネクタに接続する。

2. スイッチの ON/OFF

- 2.1. 本体背面の電源スイッチを ON にする。
 - 2.1.1. シタリングファーンネスのコントロールがおおよそ1分でスタートする。
 - 2.1.2. シタリングファーンネスが内部ソフトウェアとハードウェアのチェックを完了するとリフトが自動的に下降する。
(焼成台がリフトシート上に設置されていることを確認すること。)
- 2.2. 本体背面の電源スイッチを OFF にする。
(電源スイッチの OFF は焼成チャンバーが閉じていることを確かめてから行うこと。)

3. 焼成物の設置と取り出し

- 3.1. テーブルベースプレート上にジルコニアクラウンを置き、焼成トレーを焼成台の中心に設置する。
- 3.2. 焼結後のクラウンの取り出しは、適切なツール(ピンセット)、または、安全グローブを使用すること。

4. プログラムの選定とスタート

4.1. プログラムの選定

A タッチスクリーンの場合

- A-1 炉のスイッチを ON にすると、コントロールが起動し、タッチスクリーン表示が表示される。
- A-2 タッチスクリーンとファンクションキーを操作し、プログラムの選定を行う。
温度コントロールは、タッチスクリーンとウェブインターフェースで同一である。(項目 4.2.~参照)

B ウェブインターフェースの場合

- B-1 コンピュータのブラウザーを立ち上げる。
- B-2 ログインデータを入力するとプログラムマネージャーがスタートする。
- B-3 プログラムの選定を行う。

- 4.2. 焼成に必要なプログラムを選定する。
- 4.3. 選定されたプログラムをクリックすると、そのプログラムの焼成状況がディスプレイに表示される。
- 4.4. プログラムディスプレイの[Program start]をクリックすると、プログラムが自動的に進行する。
- 4.5. プログラム進行中はリフトが自動的に上下する。
- 4.6. プログラム進行中に[Cancel program]をクリックすると、プログラムを中止することができる。

5. プログラムの終了

プログラムの終了後、焼成炉の作動は使用したプログラムによって異なる。

5.1. クラシックプログラム

(焼成プログラムは複数のコマンドと数値入力により自由にプログラムすることができる)

5.1.1 通常のプログラムを終了するとビーブ音がする。

5.1.2 焼成回数記録が自動的に加算される。

5.1.3 焼成のログファイルが記録されプリントされる(プリンターが接続されている場合)。

5.2. プログラムが終了すると焼成物を取り出すことができる。(項目 3.2. 参照)

【使用方法に関連する注意事項】

- 1) 電源は安定した単独回線に接続し、電圧が本器に指定されている電圧と一致していること。
- 2) アースは正しく接続すること。
- 3) 常に最適な温度状態を維持できるよう、定期的に温度校正を行うこと。
- 4) 焼成台をセットせずに加熱しないこと。
- 5) 焼成時は必ず指定のテーブルベースプレート、テーブルリングを使用すること。(最大積上数:2 段)
- 6) テーブルベースプレートおよびテーブルリングは焼成台の中央に置き、焼成台からはみ出さない位置に置くこと。
- 7) タッチスクリーン及びファンクションキーを操作する際に鋭利なもので操作をするとタッチスクリーンおよびファンクションキーの表面を破損する恐れがあるため、必ず指で操作すること。
- 8) 焼成後は次のプログラムを開始するまでの間、リフトを最上位へ移動させること。
- 9) 本機器の電源を切る際は、マッフル内への湿気を避けるため、必ずリフトを最上位へ移動し、マッフルを閉じた状態にすること。

【使用上の注意】

1) 使用注意

- ①【使用目的又は効果】の項に記載された用途以外には使用しないこと。
 - ②本機器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しく使用すること。
 - ③本機器は水のかからない場所に設置すること。
 - ④本機器を設置する場所は、十分な強度をもった水平なテーブル上に置き、最も近い壁から 30 cm 以上離して設置すること。また周囲に可燃性のものを置かないこと。
 - ⑤本機器の設置場所には消火設備を設置すること。
 - ⑥本機器の作動時は、機器が正常に機能していることを常に監視すること。(未監視下で機器を作動させることは、火災の原因となる)
 - ⑦本機器の加熱中及び加熱後は本機器上部、焼成台及びその周囲が高温となるため、火傷に注意すること。
 - ⑧コード類の抜き差しには必ずブラブ部を持ち、コードに無理な力を加えないこと。
 - ⑨本機器内部に触れると感電の恐れがあるため、絶対に本体を開けないこと。
 - ⑩本機器に異常が発見された場合は、速やかに機器の使用を中止し、適切な措置をとること。
 - ⑪機器は改造しないこと。
 - ⑫歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ### 2) 重要な基本的事項
- ①故障した際は適切な表示を行い、修理完了までは使用しないこと。
 - ②本機器の修理は修理担当者以外行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔貯蔵・保管方法〕

- ①水のかからない場所に保管すること。
- ②傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)などに対する安定状態に注意すること。
- ③気圧、温度、湿度、風通し、直射日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などによる悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
- ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
- ⑤歯科の従事者以外が触れないように適切に設置・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

- ①本機器及び付属品は必ず定期点検を行うこと。
- ②しばらく使用しなかった機器を再使用する場合は、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してから使用すること。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】*

ペントロンジャパン株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17

TEL. 03-5746-0316 FAX. 03-5746-0320

【製造元】

デケマ デンタル ケラミコフェン社 (ドイツ)

(DEKEMA Dental-Keramiköfen GmbH)